

職務体験記

【募集職種】技術職（土木・建築）

私は大学で4年間まちづくりについて学び、その知識を活かせる職場で働きたいと思い、土木技術職として公務員試験の受験申込みをしました。まちづくりに係る仕事といえば、他にもディベロッパーやゼネコン等の民間企業があります。そういった企業に入り、都会の大規模な都市開発に携わることには憧れはありましたが、その大本の都市計画を定めており、一番身近でまちづくりをすることができるのは市町村であると思ったため、公務員を選びました。また、自分の住んでいるまちが区画整理や開発で変わっていくのを見て、地元のまちづくりをしてみたいと思い、幸田町を受験しました。そして縁あって採用され、都市計画課に配属されました。

幸田町の都市計画課では、建築や公園等についても扱っており、業務内容は多岐にわたります。1年目、私は主に公園の担当をしておりました。草刈りや清掃等の公園管理を業者に委託したり、遊具や施設を点検して不具合があった場合に工事や修繕を発注したりすることが主な業務内容です。公園管理は夏場が繁忙期で、草が生い茂ったり、害虫が出たりすると苦情の電話がかかってきて、現場対応をすることが多々あります。公務員はデスクワークのイメージが強かったので、現場に出る機会が多いことに驚きましたが、適度に体を動かすことができていると思っています。工事は設計書を作るところから現場監督まで担当します。設計の段階からわからないことが多く、初めは覚えるのに苦労しました。現場で業者と協議する際も、何を言っているのか理解できませんでした。ただ、回数をこなしていき、業者とも積極的にコミュニケーションをとることで、少しずつ理解できるようになりました。

日々の業務はこれだけではなく、電話・窓口対応はもちろんのこと、公園管理で使う消耗品や工事等の支払い事務、県や国から送られてくる調査物の回答等の事務仕事もあるのですが、これらの事務に時間を取られ、他の業務に手が回らず残業することもしばしばありました。また、大地震が発生したり、台風が接近したりすると、災害対応をすることもあります。私が入庁してからも、台風や大雨によって何度か招集されました。都市計画課は公園の見回りや、土木課と一緒に道路の見回り、倒木の処理等の対応をしました。災害対応は夜遅くまでかかることもあり、体力的にも精神的にもつらいです。

1年目は覚えることばかりで、目の前の業務をこなすので精一杯でした。2年目からも公園の担当は変わらずですが、都市計画や建築の事務もやらせてもらいました。更に覚えることが増えましたが、都市計画マスタープランの一部改定や都市計画基本図の更新等、数年に1度しかやることのない業務を任せられ、貴重な経験ができたと思っています。

す。

その後、私は異動もなく4年目となりました。現在は公園の再整備をメインにやっています。大規模な工事で、設計段階から悪戦苦闘しておりますが、その公園を利用する方々に喜んでもらえるような施設を整備したいと考えております。そのために利用者アンケートを取ったり、民間事業者にサウンディングを行ってきたりもしてきました。これから何十年と形で残るものなので責任重大ですが、やりがいも感じています。それは、最初のイメージとは少し違うものの、やってみたかったまちづくりが今まさにできているからです。

公務員は、住民のため、利用者のため仕事をしていても感謝をされることが少ない職業なのかもしれません。それでも、少しでも住みやすいまちだと思ってもらえるように、これからも公務員として、技術職員として誇りと責任をもって努力していきたいと思えます。